沖縄県道１０４号線越え実弾射撃訓練の分散・実施 ～ ボランティア活動等を実施 ～

令和元年８月２日（金）、王城寺原演習場での実弾射撃訓練を終えた米海兵隊の隊員約３０名は、周辺地域の方々との交流を通じ、日米相互の理解の一層の促進を図ることを目的に、大和町にある支援施設「あさいな」を訪問し、ボランティア活動を行いました。

この日も気温３０℃を超えて真夏日となる厳しい暑さの中、海兵隊員は、２班に分かれて芝張り作業とビニールハウスの撤去作業を実施しました。芝張り作業では、約１００平方メートルの斜面に芝生を敷つめ、竹串と木槌を用いて、芝生を仮留めしました。また、ビニールハウスの撤去作業では、力自慢の隊員が３０分程度でパイプ基礎までスコップで掘り起こし、パイプを解体して撤去作業を終えました。

作業後は、海兵隊員と施設の利用者や職員との交流会が行われ、『一升瓶リレー』と『本気リレー』の対決では、海兵隊員との真剣勝負に見事『チームあさいな』が勝利し、隊員とハイタッチを行うなど大いに盛り上がりました。

お昼には、施設側からスパゲッティ・焼き鳥・ポテトフライなどが振る舞われ、和やかにランチタイムがスタートしました。

閉会式では、施設の利用者と海兵隊員とのプレゼント交換があり、両者の交流の絆がより深まり、「また来てね」との声が施設利用者から発せられ、施設関係者に見送られながら、あさいなを後にしました。

芝張り作業及びビニールハウスの撤去作業を行う海兵隊員

海兵隊員 VS チームあさいなの『本気リレー』。終了後はハイタッチ!!

施設利用者と海兵隊員対抗の『一升瓶リレー』で交流

ランチタイム・スタート（「良い顔」お願いしました）

プレゼント交換（海兵隊・あさいなへそれぞれのプレゼントです）